

石九六會報第一三號

會報

一月十五日 玉城國民學校

一 須川隊ハ左記ニ依リ九二式歩兵砲実弾射撃ヲ實施ス
一般ニ承知ノコト

左記

目的	初年兵準備射撃
日時	一月十六日 至十八時
場所	中ノ榮真海岸
種類	九二式歩兵砲榴弾
弾数	三〇發

二 石第五三五部隊(煙子隊)ハ本月十五日玉城村國民學校西側校舎ニ患者療養所ヲ開設セリ

三 明十六日ヨリ左記配當計畫表ニ基キ勞務者ヲ出場セシムルニツキ各隊ニ於テ受領セラレ度

勞務者配當計畫表	
隊名	石三五九六部隊
人員	第一日 集合場所 捕
取得地区	人員
昭二〇一	

馬

本部	江戶隊	伊藤隊	松島隊	松田隊	天倉隊	水崎隊	須川隊	橋本隊	外山隊	計
二七	二九	二〇	二二	二二	二五	二一	二〇	二〇	七	二二二
系数(二區)(四) 佐敷(一九) 屋嘉部(四) 百名(一七) 仲村渠(一七) 仲村渠(一七) 垣花(一七)	系数(二區)(三) 佐敷(七)	志堅原(一八) 奥武島(一三)	前川(一三)	富里(一七) 玉城(一三) 玉城(一三) 佐敷(一三) 垣花(一三) 富里(一三) 奥武島(一三) 富里(一三)	仲村渠(一七) 奥武島(一三)	富名勝(一四) 富名勝(一六)	百名(二四) 百名(一四)	百名(二四) 百名(一四)	百名(一四) 百名(一四)	
系数前不端工場 但(二) 佐敷(一) 慶良原 南端	仲村渠 江戶隊 前	系数 伊藤隊 前 但(二) 佐敷 慶良原 南端	志堅原 松島隊 前	前川 松田隊 前	富里 東端 道路上 但(二) 佐敷 慶良原 南端	系数 水崎隊 前 前川 松田隊 前 志堅原 松島隊 前	仲村渠 須川隊 前 但(二) 佐敷 慶良原 南端	カキ 原	富名勝 分教所	
二 集合日時 八十六日 於テ直接関係係区十ト連絡ノ上変更スルコトヲ得	二 第一日 以降 直接作業場ニ集合セシム	四 各隊 第一日 受領者ヲ集合場所ニ差出シ 受領者ヲ取得スルコトヲ得	五 各隊 出席簿ヲ 啓班長ニ交付シ 毎日 出欠ヲ檢スルコトヲ得	六 取得ニ當リテハ各隊 相互ニ協調連絡シ 其ノ中滑ヲ許スルコトヲ得	二 本計書ハ上司ヨリ配當セラレタル主務務者ハハ補助務務者ニ言計ニ二〇名ニヨリ配當セルモノニシテ主補助務務者ハ合シムトス	三 勞務者ハ出席簿宛不良十九時ハ本部ニ連絡ヲトル共極力各隊ニテ関係者ヲ集メ督勵スルコトヲ得	三 本計書ハ外務力有及勤勞奉仕ハ各隊相互協調ノ上取得地区内ヨリ取得スルコトヲ得			

備考
 一 本計書ハ上司ヨリ配當セラレタル主務務者ハハ補助務務者ニ言計ニ二〇名ニヨリ配當セルモノニシテ主補助務務者ハ合シムトス
 二 勞務者ハ出席簿宛不良十九時ハ本部ニ連絡ヲトル共極力各隊ニテ関係者ヲ集メ督勵スルコトヲ得
 三 本計書ハ外務力有及勤勞奉仕ハ各隊相互協調ノ上取得地区内ヨリ取得スルコトヲ得

一月十六日	晴	火曜	於五城國民學校
陣地構築	一	大陣ノ前日ニテ精々築城作業ヲ實施ス	
日々命令	二	別紙石丸六日命令第一五號ヲ下達ス	
會報	三	慰問映画班未成ニ因リ別紙石丸六日會第一三號ヲ下達ス	
勤勞	四	本日、勤勞首	
現首	五	本日、現首	
日直	六	日直 下士官	山崎 少尉 村岡 少尉
日直	七	日直 下士官	原 少尉 島田 少尉
日直	八	日直 下士官	長 少尉 岡 少尉
日直	九	日直 下士官	長 少尉 岡 少尉
日直	十	日直 下士官	長 少尉 岡 少尉
日直	十一	日直 下士官	長 少尉 岡 少尉
日直	十二	日直 下士官	長 少尉 岡 少尉
日直	十三	日直 下士官	長 少尉 岡 少尉
日直	十四	日直 下士官	長 少尉 岡 少尉
日直	十五	日直 下士官	長 少尉 岡 少尉
日直	十六	日直 下士官	長 少尉 岡 少尉

第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	第五隊	第六隊	第七隊	第八隊	第九隊	第十隊	第十一隊	第十二隊	第十三隊	第十四隊	第十五隊	第十六隊	第十七隊	第十八隊	第十九隊	第二十隊	第二十一隊	第二十二隊	第二十三隊	第二十四隊	第二十五隊	第二十六隊	第二十七隊	第二十八隊	第二十九隊	第三十隊	第三十一隊	第三十二隊	第三十三隊	第三十四隊	第三十五隊	第三十六隊	第三十七隊	第三十八隊	第三十九隊	第四十隊	第四十一隊	第四十二隊	第四十三隊	第四十四隊	第四十五隊	第四十六隊	第四十七隊	第四十八隊	第四十九隊	第五十隊	第五十一隊	第五十二隊	第五十三隊	第五十四隊	第五十五隊	第五十六隊	第五十七隊	第五十八隊	第五十九隊	第六十隊	第六十一隊	第六十二隊	第六十三隊	第六十四隊	第六十五隊	第六十六隊	第六十七隊	第六十八隊	第六十九隊	第七十隊	第七十一隊	第七十二隊	第七十三隊	第七十四隊	第七十五隊	第七十六隊	第七十七隊	第七十八隊	第七十九隊	第八十隊	第八十一隊	第八十二隊	第八十三隊	第八十四隊	第八十五隊	第八十六隊	第八十七隊	第八十八隊	第八十九隊	第九十隊	第九十一隊	第九十二隊	第九十三隊	第九十四隊	第九十五隊	第九十六隊	第九十七隊	第九十八隊	第九十九隊	第一百隊
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------

石九六日命第一五號

石第三五九六部隊日々命令

右者陸軍兵長ヲ命ス

福屋(昭和三十二年一月九日)

一月十六日 玉城國民學校



隊名	日	時	場所	備考
第一隊	20	19
第二隊	21	20
第三隊	22	21
第四隊	23	22
第五隊	24	23
第六隊	25	24
第七隊	26	25
第八隊	27	26
第九隊	28	27
第十隊	29	28
第十一隊	30	29
第十二隊	31	30

石九六會日第一三號

會報

五月十六日 一六〇
玉城國民學校

- 一 來ル十七日部隊慰問映画派遣セラル
- 依テ各隊(配屬協力部隊ヲ含ム)八十七時三十分迄本部ニ集合シ
觀覽ノコト
- 二 服裝ハ徒手帶劍卷脚絆トシ毛布ニ名ニツキ一枚宛携行ノコト
- 下士官ニシテ官物長靴ヲ所持シアルモノハ明十七日中ニ經理室ニ
返納ノコト
- 三 石十五築第三五號ニ依ル陣地進捗状況報告(至一月十五日)ヲ
明十七日會報時迄ニ提出ノコト

石九六會第一三五號

報

十二月十一日一六〇

一 郵便取扱ニ就テ、土引ヨリ再三注意セラレタルニッ、石兵團會報第九二號第二項ノ如キ失態ヲ起サ、小様指導、且、責任者ハ係ル事故ニ對シ絶對責任アリ、本人ハ勿論責任者モ處罰ヲ受ル場合アルニッ、充分綿密ナル點檢ヲ實施スルコト
 二 松田隊、陸軍曹長末木長重ハ豫テ入院中、處去ル八日、津繩陸軍病院ニ於テ死亡ス

一月十七日晴

一月十七日晴	水曜	於五城國民學校
陣地構築	一	大隊前日ヨリ、續々築城作業ヲ實施ス
情報	二	石兵團會報第九二號ニ對シ、別紙石五情第二號
命令	三	別紙石九六會第一三三號
視察	四	別紙石九六會第一三四號
來隊	五	別紙石九六會第一三五號
慰問映画	六	別紙石九六會第一三六號
勤勞	七	本日、勤勞員
現員	八	本日、現員

日直將校 遠藤大尉
 日直兵隊 白石中尉
 日直士官 長岡中尉
 日直下士官 長岡中尉
 日直隊員 以下九六名

日	時	機	種	数	出	向	備
一月十四日	一	三	三	三	三	三	三
一月十五日	二	二	二	二	二	二	二
一月十六日	三	一	一	一	一	一	一

石 一 朝 三 五 九 六 部 隊

- 一 本十七日二〇〇新竹桃園ニB29三十七機 台中ニ
- 二 本十三機 未襲 主トシテ新竹飛行場ヲ爆撃セリ
- 三 本十七日一二一〇石垣島ニ一四七宮古島ニ
- 一 夫B29一機 未襲偵察セリ

三 敵機動部隊三群ハ補助艦ヲ増強シ依然南支那
 台湾東方海面ヲ游ヤシアルテ間接的ニルン方
 面ヲ戰ヲ支援セシガ為ニ在支米空軍ト作應シ南
 西諸島台湾支那沿岸方面ニ對シ我ガ増援
 遮断ノ攻撃ヲ再行スルノ算大ナリ
 マリアナ方面ノ別動部隊又南西諸島台湾比島
 方面ニ増援スル兆多シ

情報

石九六日命書

石第三五九六部隊日々命令

一月十七日一六〇校
玉城國民學校

今次編入新馬、調教教育ヲ明十八日九時ヨリ實施ス
依テ左記本部各隊ハ被教育者ヲ至一月廿九日間本部ニ差出シ教
育ヲ受ケシムベシ

左記

本部

下士官

江崎 曹長

機關銃中隊

將校

一名 (成ル可ク馬掛トス)

同

下士官

二名

步兵砲中隊

將校

一名 (成ル可ク馬掛トス)

同

下士官

一名

同

兵

八名

各隊ハ今次新馬二頭ニ付兵一名宛トシ兵ハ被教育者ヲ充當スルコト
服装 徒手 昼食 馬書 提要 及 所要ノ筆記 具 携行トス
陸軍技術曹長 小野正 大岩

陸軍上等兵長 平鍋小太郎
 陸軍一等兵 山影政次郎
 陸軍一等兵 前田久勇
 陸軍一等兵 久保一久
 右者火砲修理、タ、本十七日即日歸隊、豫定ヲ以テ嶺井石第四
 八四部隊ニ出張ヲ命ズ
 陸軍兵長 飼田昇
 右者暗號書交付、爲明十八日ヨリ一泊二日、豫定ヲ以テ中頭郡
 北谷國民學校ニ出張ヲ命ズ

石九六會第一四號

會報

一月十七日 玉城國民學校

一、各隊、期末現在貯蓄殘高ヲ左記要領ニ依リ調査十九日午前中計
 二、心着スル如ク提出サレ度
 左記

區分	九月三十日現在高	自十月至十二月間豫入高	同	上	十月三十一日現在高	備
將校						
下士官兵						
計						

但シ四月ヨリ翌年三月迄ヲ三月毎ニ區分第一期ヨリ第四期迄トス
 爾後本報告書其期未現在ニテ調査翌月五日マテ提出サレ度

二、松田隊、明十八日ヨリ當分間一、三七高地南側附近ニ於テ一二〇〇一八〇〇
 間爆破作業ヲ實施ス
 一般ニ承知ノコト

一月十八日晴	不曜	於玉成國民學校	陸地精采	一	大隊以上前日了續干築城作業の實施
日々命令二	進級精勤章附	陸軍兵科見習士官	陸軍兵科見習士官	陸軍兵科見習士官	別紙石丸六日命令第三號
會報三	別紙石丸六日命令第三號	陸軍少尉	陸軍少尉	陸軍少尉	別紙石丸六日命令第三號
值察四	別紙石丸六日命令第三號	陸軍少尉	陸軍少尉	陸軍少尉	別紙石丸六日命令第三號
勤勞五	本日勤勞員	陸軍少尉	陸軍少尉	陸軍少尉	別紙石丸六日命令第三號
規首六	本日規首	陸軍少尉	陸軍少尉	陸軍少尉	別紙石丸六日命令第三號

15	水	火	日	土	金
14	水	火	日	土	金
13	水	火	日	土	金
12	水	火	日	土	金
11	水	火	日	土	金
10	水	火	日	土	金

一 狀 況 一

備 考